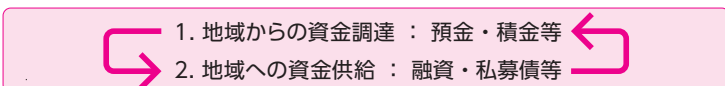


【直接的貢献】



【文化的貢献】

- 経済講演会
- 北海道信用金庫札幌クラシック&ポップスConcert (2022年度までに19回開催)

【社会的貢献】

- (一財) 北海道信用金庫ひまわり財団を通じた地域社会への助成・寄付等 (2022年度 158件/1,100万円助成)
- (公財) 北海道信用金庫奨学財団を通じた地域の学生への奨学金事業 (2022年度 53名/530万円給付)

【人づくり貢献】

- 北海道信用金庫経営者大学…若手経営者の自己啓発の実践と交流の場を提供
- 北海道信用金庫経営者大学同窓会「昭和会」
…経営者の異業種間交流と地域社会貢献活動の実践
- 小樽商科大学提供講義…金融教育の実践

【間接的貢献】

＜融資部経営支援室＞

- 中小企業・小規模事業者のお客さまへの経営改善・事業再生支援等

＜特化営業部プラザ店＞

- 住宅ローン、リフォームローンのご相談
- ビル・アパートローンのご相談
- 資産運用のご相談 (投資信託/各種保険商品等)
- 年金のご相談 (各種年金の受給手続きや調査)
- 相続、贈与対策のご相談

＜北海道信用金庫テレホンバンク＞

- インターネットバンキングのお問い合わせの受付
- 各種商品のご相談、お問い合わせの受付
- メールローン、Webローンの受付

＜(株)しんきん北海道金融センター＞

- 創業支援・事業承継等のご相談
- ビジスマッチング情報の提供
- 補助金申請のご相談

支援サービス「特化営業部プラザ店」「(株)しんきん北海道金融センター」等

1. 特化営業部プラザ店

【不動産ローンに関するご相談】

＜住宅ローン＞

- 住宅のご新築、ご購入、リフォーム、住宅ローンの借換えのご相談、ご融資のお申込み受付を行っております。
- ハウスメーカーさま・仲介業者さまを通じ幅広いご相談を承っております。

＜ビル・アパートローン＞

- お客さまの大切な資産(不動産)の有効活用や、これから不動産活用をお考えの皆さまからご相談を承り、各種ご提案を行っております。
- 施工業者さま・仲介業者さま等とのネットワークを通じ、お客さまのニーズにお応えするよう取り組んでおります。

【個人資産運用に係る各種ご相談】

- 投資信託・各種保険など、資産運用商品のご提案を行っております。
- 金融商品のプランニング、不動産有効活用、相続・贈与対策、税金に関すること等のご相談やお取次ぎを承っております。
- 年金やローンのご相談を承っております。

2. 北海道信用金庫テレホンバンク

【各種商品のご相談・お問い合わせ・ご意見等の受付】

- ☎ 0120-865-634にて、各種ご相談・お問い合わせ・ご意見を承っております(当金庫営業日の9時~17時まで受付しております)。
- 新商品のご案内、店舗のご案内、ATMのご案内等、様々なお問い合わせに対応しております。
- 個人ローン、カードローン等の各種ご相談やメールローン、Webローンの受付を行っております。
- インターネットバンキングサービスに関する様々なお問い合わせに対応しております。

3. (株)しんきん北海道金融センター

【経営課題解決へ向けた相談業務】

- (株)しんきん北海道金融センターでは経営者さまが抱える経営課題に対して、常駐する中小企業診断士が外部専門家と連携しながら各種ご提案や情報提供を実施しております。特に最近では経営者さまの「事業承継問題」等への関心が高く、円滑な承継に向けたアドバイスを行っております。

＜業務内容＞

- ◇ 中小企業・小規模事業者のお客さまへの各種コンサルティング
- ◇ 創業支援、新事業展開、ビジスマッチング支援
- ◇ 事業承継、M&A相談
- ◇ 補助金申請、事業計画策定支援

(株)しんきん北海道金融センター
札幌市北区北9条西4丁目13
北海道信用金庫北口ビル1F
TEL: 011-706-1500
FAX: 011-706-1505



4. お客様相談室

【よろず相談受付】

- お客さまからの各種ご意見・ご要望を承っております。
- お客さまのご意見・ご要望を経営に反映し、より一層のサービス向上に努めております。
- 「よろず相談お客さまの声受付」 TEL: 011-241-1661 (当金庫営業日の9時~17時まで受付しております。)

地域行事への参加

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、主な地域行事が中止となりましたが、2022年度は3年ぶりの再開となった第56回おたる潮まつり「潮ねりこみ」に職員85名が参加したほか、「八軒万博」、「定山溪温泉雪灯路」、「小樽雪あかりの路」などの地域行事に参加いたしました。

今後も、地域の行事に積極的に参加・協力し、地域の皆さまと交流を図ってまいります。



(おたる潮まつり)



(八軒万博)



(小樽雪あかりの路)

経済講演会

毎年、文化・経済の各方面でご活躍されている方を講師にお招きし、講演会を開催しております。

2022年度は日本経済新聞社 特任編集委員、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」キャスターの滝田 洋一氏をお招きし、279名の皆さまにご参加をいただきました。

これからも、多くの皆さまにご参加いただけるような企画を実施してまいります。



北海道信用金庫札幌クラシック&ポップスConcert

2003年から、地域貢献・メセナ事業として、例年11月に、札幌コンサートホール Kitara において、札幌交響楽団によるコンサートを開催しております。

クラシックとポップスの2部構成となっており、多くの皆さまに馴染みのある曲目を、フルオーケストラで楽しんでいただいております。

2022年度は、指揮者に尾高 忠明氏を迎え、2022年11月3日(木・祝)に1,842名という大勢の皆さまにお越しいただきました。



第50回 円山動物園 幼児・児童動物画コンクール協賛

2008年から、描写教育と動物愛護精神の向上という同コンクールの趣旨に賛同し、協賛しております。

なお、掲載にご同意いただいた受賞作品を当金庫のホームページでご紹介させていただきました。



小樽商科大学 提供講義

CSR（企業の社会的責任）並びに金融教育の一環として2008年度より小樽商科大学にて提供講義を開講し、地域金融機関の重要性や地域経済活性化と信用金庫の果たす役割等について、講義を実施しております。

講師陣は北海道財務局さまや日本銀行札幌支店さま等からお招きする卓越した外部講師と当金庫役職員による内部講師によって構成され、実践的な講義となっております。

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年度から2022年度は開講を見送らせていただきましたが、2023年度より再開しております。写真は2023年度のもので。）



一般財団法人 北海道信用金庫ひまわり財団 小さな善意 ふれあう心

設立/1981年10月

目的/道央圏及びその近郊における社会福祉の向上に寄与するとともに、民間社会福祉事業の振興を図ること、並びに地域住民、事業者等の知識や資質の更なる向上と文化の振興を図り、もって地域経済、文化の一層の発展に寄与すること。

事業/地域の社会福祉に係る関連団体・個人に対する助成金の交付と地域住民、事業者に対する経済・文化等の知識向上や、生活の向上、事業の発展に貢献するための事業。

※2022年度の主な助成先/老人福祉施設・身体障がい者(児)福祉施設・知的障がい者福祉施設・児童母子福祉施設・社会福祉ボランティア団体・社会福祉協議会・小規模授産所・他社会福祉関係団体

数多くの皆さまからのご協力をいただきまして2022年度の助成金は、158件/1,100万円、累計では3,619件/2億5,805万円となりました。事業内容の更なる充実を図り、より幅広い地域のために活動を続けてまいります。



北海道信用金庫経営者大学

開校/1988年7月

目的/お取引先企業の若手経営者や後継者の皆さまの自己啓発と異業種間交流の場を提供し、活発な活動をサポートしております。2020年度から2022年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い休講といたしました。

1988年の開講以来、990名の学生が卒業しております。

北海道信用金庫経営者大学同窓会 「昭和会」

発足/1989年2月

目的/企業の経営者が新時代に処するに必要な知識の向上と創意工夫を行い、自己を啓発のうえ各企業の発展と向上並びに地元経済の活性化に寄与すること。

会員数/2023年3月末現在、186名

【主な活動】

会員の皆さまがそれぞれの部会に分かれて会員同士の異業種間交流、地域貢献活動、ボランティア活動を行っております。

研修会・講演会・会員交流会・まちづくり支援等、地域社会の発展に役立つ有意義な活動を実施しております。

公益財団法人 北海道信用金庫奨学財団 希望 未来へのかけはし

設立/1976年3月

目的/道央圏及びその近郊の勤勉な学生生徒に対して学資の援助を行い、もって地域社会、さらには国家社会に有為な人材の育成を図ること。

事業/道央圏及びその近郊に本部を置く大学に在籍するひとり親家庭又は両親のいない家庭の学生に対する奨学金給付事業、高校生・大学生に対する奨学金貸与事業（ただし、貸与事業は新規取扱中止）。

2019年度より奨学金給付事業が新たにスタートし、2022年度の奨学金給付額は53名/530万円、累計では142名/1,420万円となりました。また、奨学金貸与額は累計で217名/2億2,645万円となっております。

今後も奨学金事業を通じて、より多くの学生生徒に対して学資の援助を行ってまいります。